

かさま 社協だより

No.33



編集・発行 2017.8.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL <http://www.kasama-syakyo.jp/>



アニマルセラピーを学ぼう（チャレンジボランティアスクール）

撮影 畠山

も く じ

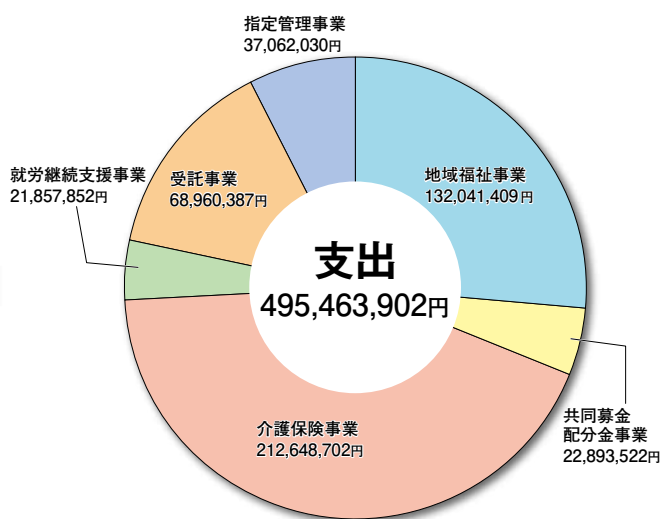
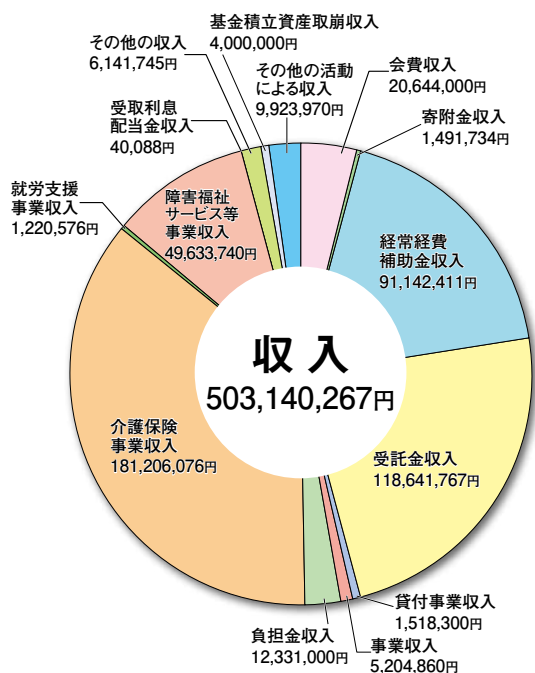
- ① 平成28年度社協事業報告・および決算報告 2～3
- ② 社会福祉協議会役員の改選 4
- ③ 安心ネットワーク柏（20区）設立、支部（地区）社協運営委員が決まりました ... 5
- ④ いきいき通所事業が始まりました・“子ども食堂” はじまりました・ちょっといい話 ... 6
- ⑤ チャレンジ！ボランティアスクール2017・平成29年度夏休みわくわく体験教室 ... 7
- ⑥ ボランティアセンターだより 8～9
- ⑦ お知らせ 10



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

および決算報告

一般会計資金収支決算



収入		
事業活動による収入		489,216,297 円
会費収入	20,644,000 円	
寄附金収入	1,491,734 円	
経常経費補助金収入	91,142,411 円	
受託金収入	118,641,767 円	
貸付事業収入	1,518,300 円	
事業収入	5,204,860 円	
負担金収入	12,331,000 円	
介護保険事業収入	181,206,076 円	
就労支援事業収入	1,220,576 円	
障害福祉サービス等事業収入	49,633,740 円	
受取利息配当金収入	40,088 円	
その他の収入	6,141,745 円	
その他の活動収入		13,923,970 円
基金積立資産取崩収入	4,000,000 円	
その他の活動による収入	9,923,970 円	
合 計	503,140,267 円	503,140,267 円

支出		
社会福祉事業		389,441,485 円
地域福祉事業	132,041,409 円	
共同募金配分金事業	22,893,522 円	
介護保険事業	212,648,702 円	
就労継続支援事業	21,857,852 円	
公益事業		106,022,417 円
受託事業	68,960,387 円	
指定管理事業	37,062,030 円	
合 計	495,463,902 円	495,463,902 円

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

平成28年度

社協事業報告

みんなでつくる福祉のまち（誰もが安心して暮らせる地域社会）

輪づくり

（地域福祉活動を推進します）

- ・支部（地区）社協活動の充実
- ・地域ケアシステム推進事業
- ・生活福祉資金、小口資金貸付事業
- ・心配ごと相談事業
- ・福祉機器貸出事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活困窮者自立相談支援事業
- ・親子通園事業
- ・新入学児童
祝金支給事業
- ・福祉団体の
育成及び支援
- ・サロン
（つどいの場）
づくり支援



地域づくり

（在宅生活の自立支援を推進します）

- ・在宅福祉サービス事業
（子育て、移送含む）
- ・ふれあいサポート事業
- ・いきいき通所事業
- ・配食会食サービス事業
- ・あんしん袋支給事業
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業
- ・障害者自立支援事業
- ・重度障害者訪問入浴サービス事業
- ・障害者福祉センター
- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・訪問入浴事業



人づくり

（ボランティア活動を推進します）

- ・ボランティア講座の開催
- ・福祉教育への支援
- ・ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア連絡協議会の運営支援
- ・善意銀行運営
- ・サークル活動への支援



基盤づくり

（社協体制の強化を図ります）

- ・理事会、評議員会の開催
- ・災害支援の強化
- ・定款及び諸規定の整備
- ・会員の増強
- ・共同募金運動の推進
- ・情報公開の推進
- ・広報誌の充実
- ・ホームページの充実



誰もが安心して暮らせる 地域社会をめざして

理事・監事・評議員決まる

平成29年6月27日の評議員会において、理事10人、監事2人が選任され、その後の理事会において会長、副会長が選出されました。

なお、新たな理事の任期は平成29年6月27日～平成31年6月開催の定時評議員会終結までとなっています。



会長
藤枝 政弘

市民の皆様には、日頃より笠間市社会福祉協議会の運営につきまして、格別なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、6月27日の役員改選におきまして、本協議会会長に就任いたしました。会長という職責の重さに身の引き締まる思いであります。市民の皆様のお力添えをいただきながら、本協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に全力を尽くしてまいる所存であります。

笠間市の高齢化率も29%に達し超高齢社会がますます進展する中、本協議会では第二次笠間市地域福祉活動計画において、基本理念を「みんなでつくる福祉のまち」と定め、地域福祉活動の推進、ボランティア活動の推進、在宅生活の自立支援などの各種事業に取り組んでおります。その目的達成のためには市民の皆様の声を少しでも多く取り入れ、お互いに助け合う地域の絆、市民の皆様とのつながりを大切に、共に支え合う地

域づくりをすすめていかなければならないと考えております。

今後、役員が一人となり地域福祉の向上を目指してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。会長就任のあいさつとさせていただきます。



副会長
常井 鞠代

このたび、笠間市社会福祉協議会副会長に再任されました常井です。

皆様もご承知のとおり、今日の社会福祉を取り巻く状況は、少子高齢化、単身世帯の増加、生活困窮、社会的孤立といった様々な課題が顕在化しています。

今のこの社会だからこそ社会福祉協議会の必要性を痛感しています。本会が目標とする「誰もが安心して暮らせる地域社会」この理念の重さ、心を傾けて、地域の皆様と一緒に責務を果たしてまいりたいと思います。

皆様のご支援とご協力よろしくお願い申し上げます。

理事

氏名	選出区分
森 昌子	福祉施設
深谷 敏知	ボランティア
藤枝 政弘	学識経験者
常井 鞠代	学識経験者
鶴田 浩一	区長会
鈴木 守正	民生委員児童委員
綿引 隆信	支部・地区社協
平本 増治	高齢者クラブ
石田 安夫	笠間市議会
鷹松 丈人	行政関係者

監事

保坂 悦男	社会福祉事業について識見を有する者
野口 賢男	財務管理について識見を有する者

評議員

根本 玄	福祉施設
太田 寛子	ボランティア
大月 裕美	学識経験者
小沼 弘行	学識経験者
川崎 幸良	区長会
芥川 麗子	民生委員児童委員
中村 彦藏	支部地区社協
井川 正二	身体障害者福祉協会
飯村たか子	介護者の会
中村 章一	人権擁護委員協議会
石松 俊雄	笠間市議会
萩原 修	行政関係者

苦情解決第三者委員

大関 利久
藤田 嘉昭
小菅 君枝

評議員選任・解任委員

野口 賢男
石田 俊夫
橋本由合子
海老澤清美



事務局長
藤枝 泰文

本年4月1日より、笠間市社会福祉協議会事務局長に就任致しました。

笠間市も超高齢社会となり、また少子化や人口減少もますます進展するなか、10年後、15年後を見据えた新たな地域福祉への対応が求められてきております。

本協議会では第二次笠間市地域福祉活動計画に定める「輪づくり」「人づくり」「地域づくり」「基盤づくり」に向けた事業・活動を今後もしっかりとすすめてまいりますので、引き続きご指導とご協力をお願い申し上げます。

安心ネットワーク柏(20区)の設立

運営委員長 久保田 明

「安心ネットワーク柏」(20区)の母体は、笠間小学校前の大和田町内、松町町内、四ツ谷町内の125戸で構成される小さな団体です。

平成17年4月に以前から活動していた「防犯ネットワーク柏」から発展したもので、平成27年に「社会福祉法人笠間市社会福祉協議会」の理念・目的が私たちの「安心ネットワーク柏」と同じようなことを知り、平成28年4月に設立させていただいたものであります。

行政区としては笠間市第20区になり、事務所を20区児童公民館内におき、運営委員長のほか12人の役員で運営しております。

主な事業としては次の項目等になります。

- ・地域住民の福祉活動への参加促進
 - ・防犯、防災に関する活動
 - ・老人福祉に関する事業
 - ・地域のコミュニティ育成のための親睦事業
- 大きな行事としては、年初



少子高齢化を迎えて三世代交流、地域コミュニティの難しさに直面しておりますが、これからの「社協」からのアドバイスなどを受け更なる充実を願っているところであります。

に新年会、夏に祇園祭、そして防災会、敬老会と有りますが、その他サークル活動としてヨーガの会、囲碁将棋の会、元気体操など昨年度延べ104回の回数を重ねることが出来ました。また昨年は初めて日帰り研修を行い大変盛況に終わることが出来、本年も継続実施することとなっております。

支部(地区) 社協運営委員が決まりました

〈敬称略〉

【笠間地区】

支部名(地区)	役 職	氏 名
こ う ゆ う 会	会 長	小 堀 晃
上 加 賀 田 支 部 「ま な だ け 会」	会 長	富 田 哲 夫
大 橋 支 部	運営委員長	森 和 以
来 栖 支 部 「来栖四つ輪の会」	会 長	塩 田 幸 三
寺 崎 支 部 「し ん こ う 会」	会 長	田 口 孝 市
箱 田 支 部 「ふ れ あ い 会」	会 長	大 月 英 明
下市毛支部(15区)	支 部 長	飯 塚 信 一
13区社会福祉協議会	運営委員長	武 子 文 男
高 田 支 部	運営委員長	田 中 宏
稲 田 支 部 「み か げ 会」	支 部 長	長谷川 泉
池 野 辺 支 部	支 部 長	関 和 夫
福 原 支 部	支 部 長	深 谷 敏 知
安心ネットワーク柏(20区)	運営委員長	久保田 明

【友部地区】

支部名(地区)	役 職	氏 名
穴 戸	支 部 長	伊 東 勝 男
東	支 部 長	綿 引 隆 信
中 央	支 部 長	鈴 木 征 夫
大 旭	支 部 長	小 野 武
北 川 根	支 部 長	鈴 木 裕
大 原	支 部 長	石 井 文 夫

【岩間地区】

支部名(地区)	役 職	氏 名
上 押 辺	運営委員長	中 林 喜久雄
吉 岡 2	運営委員長	小田喜 保 彦
下 安 居	運営委員長	皆 藤 恵美子
土 師	運営委員長	大 峰 重 浩
泉 A	運営委員長	中 村 彦 藏
南 部	運営委員長	岡 野 博 之
安 居 東 部	運営委員長	大 峯 正 春
新 渡 戸	運営委員長	藤 枝 貞 義
参 り 坂	運営委員長	茂 呂 裕
岩 間 西 部	運営委員長	生 駒 敏 文

いきいき通所事業が始まりました

笠間市社会福祉協議会では4月より、介護予防・日常生活支援総合事業の「いきいき通所事業」が始まりました。

各地区それぞれ実施しており、要介護状態への進行を予防するため、レクリエーション活動や趣味活動を行っています。皆さん毎回楽しく参加され、笑顔がたえないひとときを過ごされています。

友部地区

週／5回

小学校区ごとに開催



ハワイアン演奏を聴きながら

笠間地区

週／5回

公民館区ごとに開催



トランプゲームで盛り上がる

岩間地区

週／4回

ASDコースで開催



体操のあとのレクリエーション

お問い合わせ
本所 02996(77)0730
笠間支所 02996(73)0084
岩間支所 02999(45)7889

“子ども食堂”はじまりました



おなかいっぱい～ まんぞく！

8月3日(木)友部社会福祉会館において、子ども食堂「はらぺこ食堂」がスタートしました。(第1回目)

この会は、茨城保健生協がさま支部の皆さんが立ち上げたもので、代表の柳岡さんを中心に30人のメンバーで成り立っています。

この日のメニューは、から揚げ・ポテトサラダ・まぜご飯にデザート

が付いて大人200円、子ども100円で40食を用意したそうです



子ども食堂の目的(私たち)は多様です。「子どもの孤食を防ぐ」「経済的な事情を抱える家庭の子どもに食事を提供する」「子どもとおとなの交流」などです。地域全体で子どもを育てよう、という意識が育まれています。

す。食材は知り合いや近所の農家の方からいただいた物などで、賄っているとのこと。

用意した40食は終了を待たずに売り切れとなり、リーダーの方は「ここまで忙しい日々でしたが、今日は多くの方に足を運んでいただき、嬉しい限りです。子どもたちが地域の方々とふれ合ったり、ゲームをして笑顔

をみせてくれる姿を見て、この活動が地域づくり街づくりにつながっていったらいいなと思います」と話されていました。(関)

＜子ども食堂の紹介＞

・「はらぺこ」
第2回 8月24日(木)
第3回 9月18日(月)
第4回 10月29日(日)
友部社会福祉会館2階和室
11:30～13:30

・「たんぽぽ」(毎月第1・3木曜日)
地域交流センターともべ(トモア) 18:00～20:30
主催 NPO法人市民支援センターともべ

ちょっといい話

水戸駅5・6番線ホームにある立ち食い蕎麦屋さんの壁に、次のように手書きされたものが貼ってありました。

気づいた事がある。50音の中に「あ」行と「は」行に、笑いの神様が住んでいる事に。

あつはは、いつひひ、うつふふ、えつへへ、おつほほ、ほーら笑いの神様が住んでいるでしょう。「は」行だけでも笑えるよ。笑ってごらん。笑顔っていいネ。

次に「思い出すだけで心がじんわり温まる50の物語」の本に、次のようなことが書いてありました。なるほどと思いましたので書いてみました。

「50の誓い」

- ・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- ・耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ・目は、人のよいところを見るために使おう。
- ・手足は、人を助けるために使おう。
- ・心は、人の痛みがわかるために使おう。

(内桶)

チャレンジ！ボランティアアスクール2017

アニマルセラピーを学ぼう

学校法人佐山学園アジア動物専門学校から4人の講師（小坂・藤田両先生・在校生2人）を迎えて、8月2日（水）参加者10人（中学生8人・高校生2人）でボランティアアスクール「アニマルセラピーを学ぼう」が開催されました。講師の方から、学習のポイントが3つ示されました。

①動物福祉の意味と内容を理解しよう



日本では、セラピーといふと単なる癒しと思われるが、本来は「治療・療法」という意味です。

つまり、アニマルセラピーとは「動物が医師を通して患者の機能向上の手助けをする」ことが目的です。

基本的に「動物介在療法」と「動物介在活動」のことを指します。

動物介在療法とはアニマルアシステッドセラピー（Animal Assisted Therapy）（アニマル

で、あくまで「療法」ですので、専門的な知識を持った人だけが行える医療行為といえます。

動物介在活動とは、アニマルアシステッドアクティビティ（Animal Assisted Activity）のことで、ボランティア活動の一環として行われます。医療という形態を取らないとはいえ、動物の体調管理や衛生面の配慮また臆などが絶対条件です。

どちらも動物たちの癒しの効果を最大限に利用したものです。

②なぜ、動物がセラピーに参加するようになったのか

「見る」「触れ合う」「コミュニケーションを取る」ことで癒しを感じられる犬・馬・イルカなど、人なつっこい性格の動物が適しているからです。しかし、現実的に日常で出会える動物というと犬・猫になるでしょう。

③日本での動物への考え方

アニマルセラピーで用いられる動物は、一方的に「アニマルセラピー」と称してこちらの癒しに用いられているだけです。動物側のストレスを無視した自分勝手な治療法にならないように気をつけましょう。



トイプードル、ラブラドルレトリバーといっしょに

「ふれあいタイム」

講義後、参加者がまあるくなつて椅子に座っているところに小型犬3匹・大型犬1匹が登場。小型犬を抱きかかえて満足そうな笑顔。次々と参加者に抱っこされていく。大型犬は椅子の間を動き回り、参加者から頭をなでられていく。最初は苦手そうだった中学生も最後には抱っこできて緊張した顔。笑い声が教室内に響く。

犬の疲れにも考慮しての休憩中、講師から「人鳥」はなんて読む？という質問がでる。「ペンギン」。なるほど。

参加者全員が講義・体験を満足していたようでした。

（高野）

平成29年度夏休みわくわく体験教室

夏休み恒例のわくわく体験教室が7月21日から8月10日の期間中、友部本所で12教室・岩間支所で11教室・笠間支所で6教室が開催されました。今回7月28日、岩間保健センターでの3教室を取り上げました。

水鉄砲、竹とんぼ作り

♥子どもたち



先生がとても優しく教えてくれたので、上手に作れて楽しかった。来年もやりたいと思った。作るのが難しかった。

でも楽しかった。

◆保護者

思った以上に難しかった。竹とんぼは、作る機会が無かったもので、とても良い体験が出来ました。

初めて作ったので大人でもおもしろかった。

楽しい体操ゲーム

♥子どもたち

思い出になる友達ができました。輪投げが楽しかった。握力測定で2回目1回目より記録が上がった。サザエさん体操が楽しかった。



◆保護者

子どもたちと一緒に踊れて楽しかった。初めての体験教室、楽しく面白くすごせた。ありがとうございました。

そば&餃子作り

♥子どもたち

分かりやすい説明で、下手だけど出来るようになった。餃子作り、そばのこねが難しかった。家でもやってみよう。

◆保護者



親子で参加できて楽しかった。楽しい時間があった。よかった。

こういう機会をいただいて一緒に体験できて良かった。

（参加した保護者、児童の感想文より）3教室とも、子供たちの真剣な作業態度に感動しました。

（畠山）

センターだより

づくりを目指して

「第一火曜日の会」は、地域交流センターともべ「トモア」とグループホーム「いきいきの家笠間」の見学会を行いました。

また「熱中症予防についてのお話」を連日暑い日が続いているこの時期にタイムリーな講演会を開きました。

今年度から、活動を開始した蕎麦打ちボランティア「麺友会」・食事作りの「きんもくの会」・「和カフェ笠間」の活動を紹介します。

第一火曜日の会

4/4 地域交流センター見学会
「Tomoe」19人参加

「トモア」はJR友部駅南口に隣接し、市民活動の交流拠点となる施設として、135席のマルチホール、健康ルーム、会議室、調理室、市民活動サロン、カフェを備えています。



マルチホールで施設長のお話

トモアは友（tomoe）との交流を図る場所であること、そしてセンター機能の充実（more）を願うての愛称であるとのことでした。

5/2 グループホーム「いきいきの家笠間」見学会 10人参加

笠間駅近くに3月にオープンした「いきいきの家笠間」は、1ユニット9名で2ユ

ニット。全室個室で18室。木造建物平屋造りです。

中庭にはシンボルツリーのしだれ桜が植えられ、「その人らしくなごやかな環境で家庭生活の延長の場として暮らせる」ようにとの配慮があらこちらにされていました。



モデルルームで

施設見学の後、利用方法や利用料金などの説明をうけました。参加した方は身近なこととして、熱心にメモを取る様子が伺えました。



管理者長塚さんを囲んで

7/4 熱中症予防についてのお話 19人参加

私の予防法

柿橋西区 山田 章子

高齢者の熱中症の4割は室内で起きていると聞いた。我家は風通しのよい家なのでクーラーはなく、扇風機とうちわとグリーンカーテンで夏を過ごしている。その扇風機も使う事はあまりなくて済んでいる。

朝、家中の網戸を開放してさわやかな朝の冷気を取り込む。そして、涼しい部屋を求めて一階から二階、また一階へと水持参で移動しながら一日を過ごしている。これも暑いと外出するのも面倒になるのでちょっとした運動になるのではないかと思う。

一番大事にしているのは十分な睡眠ときちんとした食事、外出する時は必ず水持参、これが私の熱中症予防法である。

熱中症を予防するポイント

- 1 暑さを避ける
- 2 涼しい服装
- 3 こまめな水分補給
- 4 急に暑くなる日に注意
- 5 暑さに備えた体力づくり
- 6 体調に合わせて行動する



「第一火曜日の会」これからの予定

9/5 (火)	ボランティアサークル 「いろは」の紙芝居鑑賞と貼り絵作り	9:30~11:30	社協笠間支所
10/3 (火)	「民話の語り」	9:30~11:30	岩間保健センター
11/7 (火)	(企画中)	9:30~11:30	友部社会福祉会館 2階
12/5 (火)	まゆ玉、干支(戌)づくり	9:30~11:30	社協笠間支所

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0296-78-2626 詳しくは広報かさま お知らせ版をご覧ください。

ボランティア

住みよいまち



きんもくの会
今日は若園ひやしとてへり

ボランティア講座からサークル活動に

「麺友会」

会長 大和田 勉

蕎麦打ちボランティアサークル麺友会は、社協主催の蕎麦打ち初級講座受講生有志で昨年6月に発足しました。



会員は16人です。社協のいきいき通所事業や老人施設での出前蕎麦打ち活動を行っています。毎月、蕎麦打ち勉強会で腕を磨いています。

「きんもくの会」

代表 千葉 倫夫

きんもくの会は、「男の料理講座」経験者が、「お達者倶楽部」参加者に対する昼食を提供していたチームを母体に、平成27年度に結成、月2回第1金曜日と第3木曜日に活動してきました。



しゃべりにも花が咲き、なつかしい歌も一緒に歌い、私たちが大いに楽しんでいきます。

「和カフェ笠間」

代表 水田 諭

29年度からは、「いきいき通所事業」への制度変更に伴い、10人で月1回第2木曜日から金曜日に活動、「いきいき通所事業」に昼食を届けています。

私たちは「和カフェ笠間」は、毎月市内の福祉施設を訪問してドリップコーヒーを淹れ、香りと味を楽しんでいただく活動を行っています。会員はコーヒー好きの14人、サザコーヒー・鈴木会長の講座を受講した後、昨年7月に活動をスタートさせました。福祉施設では、入居者へのコーヒーサービスに加え、お

福祉体験



友部・岩間・笠間の小・中学校を対象に福祉体験を行っています。今回は中学校を取り上げました。

6/29

稲田中 三年 瀬谷 航

私は、福祉体験で「車いす」を体験しました。車いすの部品の説明や実際の使い方を学びましたが、車いすは一人で運転するのは大変つらいことなのだと思います。また、「点字」では、一つ一つ手作業で点を打つのが大変難しくしてそれを読み取るのも大変でした。高齢者や障害者の方々は、生活するのがとても難しいことに気が付きました。

福祉体験で学んだことを社会生活に役立てたいと思いました。

6/9

友部二中 一年 大曾根叶望

私が行った体験は「朗読体験」と「手話」です。

朗読体験では話し方、発音

をきちんと練習しいつも聞いている方を思っ朗読していることに感激しました。手話は一つ一つの指の動きが違って、最初は覚えることも難しかったけど少しずつ覚えると、自分の名前やたくさん曲を手話で表すことができました。

6/9

友部二中 一年 坂入 健太

はじめに、車いす体験をしました。乗っているときは、少しの段差でも「ガタン」となり車いすに乗っている人は、こわい思いをしているんだなと思いました。

次に、シニア体験をしました。重りなどをして手足や耳、目を不自由にしました。階段を登るときは手すりを使わないと登れなかったの、階段で困っている人を見かけたら助けてあげたいと思いました。これからは、この体験を通して、お年寄りや障害がある人の大変さを知ることができたので、困っていたら助けてあげたいと思いました。

善意の寄附を「ありがとう」 (善意銀行預託)

平成29年3月1日～平成29年6月30日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

友部高等学校
笠間ゲートボールクラブ
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
秀芳会笠間支部
いなだ保育所
ハッピーわんず
稲田中学校
さくら幼稚園
岩間第一小学校
飯田自動車(有)
ナブコシステム(株) 茨城支店
額田 義文
ともべ幼稚園
入澤法律事務所
こじか幼稚園
ともべ保育所
青葉町長寿会
旭化成メタルズ(株)
穴戸小学校
山中 としい
いわま保育園
(有)笠間給食センター 従業員一同
おしのべ保育園
くるす保育所
不二製油(株)関東工場
勝山 瑠美(稲田小学校)
(有)伊藤石材工業

岩間第一小学校児童クラブ
大原小児童クラブ(ポプラの会)
友部自動車教習所
(有)清水工務店
小池 彩恵(稲田小学校)
ガールスカウト茨城県第30団
大沢保育園
友部郵便局
泉A地区社会福祉協議会
泰栄電器(株)
土師地区社会福祉協議会
(有)佐藤設備工業
友部小学校児童会
穴戸小学校児童クラブ
カントリークラブ ザ レイクス
みか保育園
いなだこども園
ケアハウス悠
サンエツ工業(株)
笠間工芸の丘
高齢者クラブ旭台睦会
秋山 洋子
近藤 礼子
さつき観光
赤沢 三男
めぐみこども園
岩間第三小学校
匿名

食器等

渡部 悟平

衣類等

こうゆう会 姫殿会
矢吹 和夫
ナブコシステム(株) 茨城支店

介護用品等

BMCエンタープライズ(株)

金

銭

飯田自動車(有) ￥15,924
萩谷 憲一 ￥3,000
友部読書会連合会 ￥10,000
青葉町長寿会 ￥25,561
バザー夢工房 ￥120,000
(有)笠間給食センター 従業員一同 ￥3,847
宮崎 敏子 ￥4,744
阿亀親睦ゴルフコンペ ￥32,280
友部地区民生委員児童委員協議会(東支部) ￥1,325
米川 愛子 ￥17,150
三友会 ￥5,829
MGM友部店 ￥30,000
ボランティア連絡協議会岩間支部 ￥50,000
不要入れ歯合同回収益金 ￥2,438
匿名 ￥93,281

平成29年度 心配ごと相談所開設日程表

日常のお困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)

時間: 13:00 ~ 16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

	笠間支所 (毎週火曜日)	本 所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
場所	社協笠間支所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
月	9月 5日・12日・19日・26日	6日・13日・27日	7日・14日・21日・28日
10月	3日・10日・17日・24日・31日	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日
11月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・22日・29日	2日・9日・16日・30日
12月	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日

法律相談 ※事前に心配ごと相談所へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00 ~ 12:00 (9・12月は第4金曜日)	第1金曜日 10:00 ~ 12:00	第2金曜日 10:00 ~ 12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250

編集後記

池上彰のニュース大辞典で国内で食品ロスが1年間で621万トン。本来ならば食べられるにもかかわらず廃棄されている。その量は都民1年間の消費に相当するそうです。ニュースを聞いた時、ある週刊誌の見出し『もったいないが死語になっている』を思い出した。

読むと、寿司のシャリ、ラーメン食べ放題など飲食店での食べ残しが大量廃棄となっている。一方で、日本の貧困家庭は人口の約16%で二千万人ほどいるといわれている。社協では、平成28年10月に「きずなボックス」を設置し「もったいない」を「ありがとう」に変えて、家庭にある食品を無駄にすることなく、必要としている方や団体に役立ててもらおうという活動をスタートさせた。

日本の食料自給率(カロリーベース)が39%であることをみなさんはご存知でしょうか。「今日も残さず食べましょう。いただきます」の気持ちをもう一度かみしめ、食品ロスを減らす努力をしませんか。

(場)